



2位に入った宇都宮ブリッツェンの小野寺（右）と3位の鈴木謙（左）。中央は阿部高之＝長野県宮田村、小森信道さん撮影

# ブリッツェン勢健闘

## 小野寺2位、鈴木謙3位

自転車

JPT第11戦

自転車ロードレースのJプロツアー（JPT）第11戦「みやだクリテリウム」は23日、長野県宮田村内特設コースで予選

JPT第12戦は29日に大田原市で「大田原クリテリウム」、第13戦は30日に矢板市で「片岡ロードレース」を行う。いずれも今季の新設レースとなる。

田村内特設コースで予選（3・2キロ×4周）12・80キロと決勝（3・2キロ×15周）48・00キロを走り、宇都宮ブリッツェンの小野寺玲が2位、鈴木謙が3位に入った。優勝は吉田隼人（マトリックスパワータグ）だった。宇都宮ブリッツェンは雨沢毅明と阿部高之が

▽P1決勝（3・2キロ×15周）48・00キロ ①吉田隼人（マトリックスパワータグ）1時間12分57秒 ②小野寺玲（宇都宮ブリッツェン）1時間12分57秒 ③鈴木謙（同）1時間12分58秒 ④吉岡直哉（那須ブラーゼン）1時間13分01秒 ⑤阿部高之（宇都宮ブリッツェン）1時間13分09秒 ⑥雨沢毅明（同）1時間13分18秒 ⑦飯野寛行（同）1時間13分35秒 ⑧岸崇仁（那須ブラーゼン）阿部航大（ホンダ栃木）下島将輝（那須ブラーゼン）、新城銀二（同）、西尾勇人（同）以上途中棄権

なき、最後は鈴木謙にけん引された小野寺で勝負を掛けた。12人の集団スプリントになり、一時は先頭に立った小野寺だったが、最後は吉田にかわされて同タイムながら着差で優勝を逃した。

宇都宮ブリッツェン・清水裕輔監督の話「ゴールスプリント勝負の瞬間の判断力の差で負けてしまったという印象。想定より1枚足りない状況が、小野寺の早がけのスプリントにつながってし

まった。来週もクリテリウムがあるのでまた（優勝に）挑戦したい。